

平成27年度に行った主な事業

本村では、5つの基本目標に沿った事業を実施しています。平成27年度に行った主な事業を紹介します。

●教育・文化（歴史と文化が薫り英知を育む村）

- ・学校給食業務 1億3,025万円
- ・仲泊校ICT教育機器整備事業 4,123万円
- ・幼小中学校安全対策監視カメラ備品購入 1,944万円
- ・沖縄関連資料整備事業 1,456万円

●保健・医療・福祉（皆が安心して暮らせる健康の村）

- ・再編交付金関連健康づくり事業 1,771万円
- ・配食サービス事業 2,022万円
- ・障害者自立支援給付事業 2億6,353万円
- ・子ども医療費助成、未熟児養育医療費助成 2,020万円

●産業・経済（人々が集い活力ある豊かな村）

- ・恩納漁港整備調査測量業務 2億6,353万円
- ・前兼久区交流施設整備事業 2億2,750万円
- ・美ら海花火大会事業 729万円
- ・「みどりの回廊」整備事業 1,004万円

●生活環境（美しい自然と共生する潤いのある村）

- ・農業集落排水事業 7億5,662万円
- ・下水処理場等維持管理業務 3,949万円
- ・安富祖ダム整備事業 14億3,403万円
- ・防災倉庫整備事業 4,076万円

●自治体運営（村民が参加し協働して築く村）

- ・沖縄特殊戸籍電算化事業 2,075万円
- ・社会保障・税番号制度システム整備 1,964万円
- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略策定業務 529万円
- ・防犯灯修繕・設置事業 243万円



学校給食業務



仲泊校ICT教育機器整備事業



前兼久区交流施設整備事業



再編交付金関連健康づくり事業



安富祖ダム整備事業



まち・ひと・しごと創生総合戦略



防災倉庫整備事業

村債の状況

区分	前年度末残高	本年度末残高	前年度比
一般会計	42億5,057万円	40億1,589万円	△5.5%
下水道事業	6億1,912万円	6億9,201万円	11.8%
水道事業	6億3,828万円	7億128万円	9.9%

健全化判断比率と資金不足比率

指標名	本村の比率	早期健全化基準(黄信号)	内容	
健全化判断比率	実質赤字比率	赤字なし	15%	一般会計等の赤字の割合
	連結実質赤字比率	赤字なし	20%	全会計の赤字の割合
	実質公債費比率	7.0%	25%	年間の借入金返済額の割合
	将来負担比率	赤字なし	350%	将来に負担が見込まれる負債の割合
資金不足比率	資金不足なし	20%	公営企業の資金不足額の事業規模に対する割合	

平成28年度上半期(4月~9月末)の財政状況

区分	予算額	収入済額	支出済額
一般会計	87億8,318万円	45億7,160万円	36億6,930万円
国民健康保険	19億1,928万円	8億8,174万円	7億8,884万円
後期高齢者医療	8,897万円	4,248万円	3,894万円
下水道事業	7億1,864万円	2億2,402万円	9,984万円
水道事業(収益的)	6億8,116万円	2億3,565万円	2億2,108万円
水道事業(資本的)	3億9,077万円	0円	7,312万円

平成27年度 村の財政状況

平成27年度恩納村一般会計と特別会計、企業会計が9月定例会議で承認されました。

村民のみなさまから納めていただいた税金や地方交付税、国・県からの補助金が平成27年度中にどのように入ってきたか、どのように使ったかを知っていただくため、条例に基づいて毎年5月と11月に財政状況を公表します。

●平成27年度決算の概要

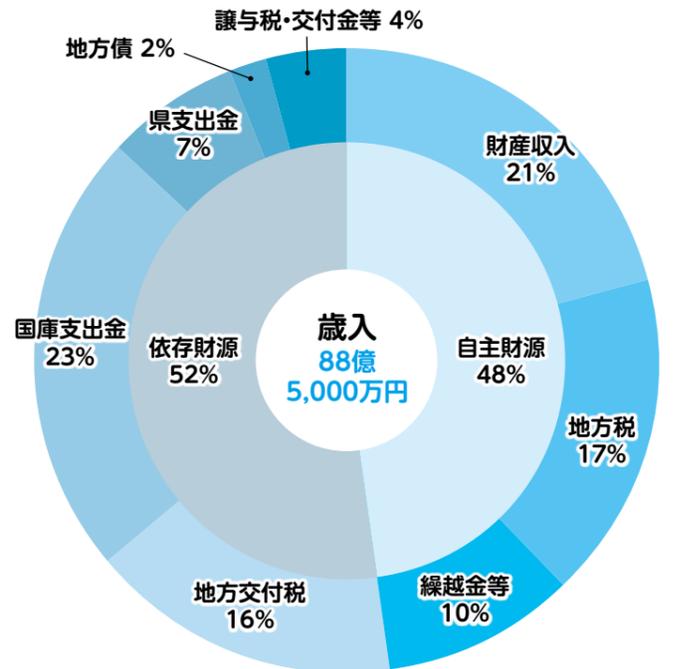
平成27年度の一般会計と特別会計、公営企業会計を合わせた決算額は、歳入が125億9,172万円、歳出が121億3,674万円で、4億5,498万円の黒字となりました。

●一般会計の状況

一般会計の歳入は88億5,000万円、歳出は85億2,220万円で、3億2,780万円の黒字となりました。歳入では、地方消費税交付金や繰越金が増となり、国庫支出金や繰入金が増となりました。歳出においては、補助費等や積立金が増となり、普通建設費や繰出金が減となりました。大規模事業の完了や国民健康保険特別会計への繰出しが減少したことによるものです。

●今後の見通し

基金(貯金)残高が増加し、村債(借金)は減少しているため良好な状態と言えますが、中学校統合や下水道整備などに多額の費用がかかるため、経常経費の見直しや新たな財源の創出を進め、村民サービスの向上に努めます。



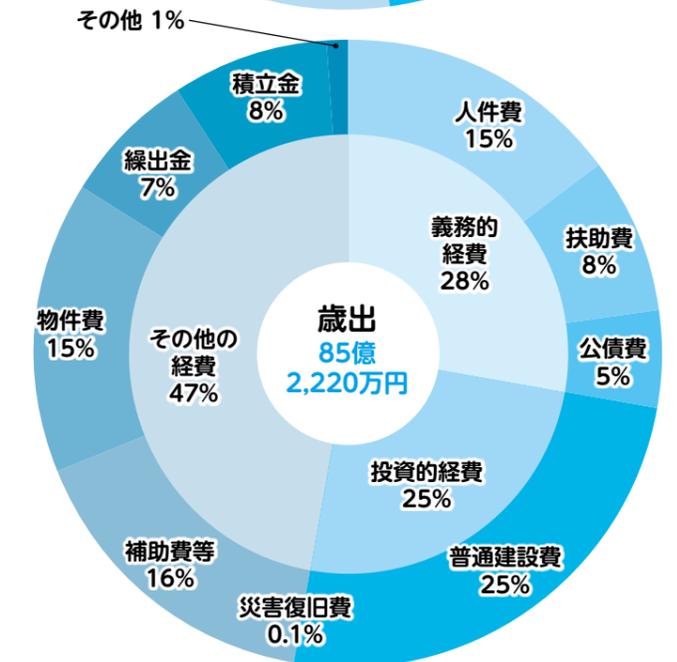
年収500万円とした場合の家計簿は...

《収入》

種別	金額
年収(給与)	500万円
内訳	
基本給	400万円
諸手当	100万円
親などからの援助	233万円
貯金の取り崩し	9万円
銀行からの借金	8万円
パート収入ほか	146万円
合計	896万円

《支出》

種別	金額
食費	127万円
光熱水費	127万円
医療費・教育費など	71万円
ローンの返済	45万円
家や車の購入・改修	222万円
家族への仕送り	58万円
友人などへの援助	142万円
貯金	71万円
合計	863万円



特別会計・公営企業会計決算の状況

区分	歳入額	前年度比	歳出額	前年度比
国民健康保険	19億9,588万円	12.5%	18億6,268万円	12.3%
後期高齢者医療	8,779万円	△2.5%	8,775万円	△2.2%
下水道事業	8億4,921万円	△26.2%	8億2,265万円	△27.2%
水道事業	8億884万円	20.6%	8億4,147万円	20.1%

※水道事業:不足分は過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。